

令和 7 年 度

市立上鶴間中学校トイレ洋式化修繕

設計書

相模原市

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

B棟 4. 付帯建築修繕						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【1F、3F】						
トイレスラブ補修費	女子トイレ 4箇所×2F=8箇所 男子トイレ 2箇所×2F=4箇所 材工共	12	箇所			
トイレブース補強費	男子トイレ 間仕切り壁撤去後に伴う補強 材工共	2	箇所			
トイレブース扉閉塞費	男子トイレ 材工共	2	箇所			
トイレブース躯体費	女子トイレ 和式4箇所→ 洋式3箇所×2F=6箇所 材工共	6	箇所			
長尺シート張替え費	男子・女子トイレブース内 材工共	8	箇所			
幅木張替え費	男子・女子トイレブース内 材工共	8	箇所			
天井点検口	450角 開口部補強含む 材工共	4	箇所			
雑工費		1	式			
【2F】						
トイレスラブ補修費	女子トイレ 1箇所 男子トイレ 1箇所 材工共	2	箇所			
壁補修費	男子・女子トイレブース内 既存ライニング撤去箇所 材工共	2	箇所			
長尺シート張替え費	男子・女子トイレブース内 材工共	2	箇所			
幅木張替え費	男子・女子トイレブース内 材工共	2	箇所			
天井点検口	450角 開口部補強含む 材工共	2	箇所			
雑工費		1	式			
建築経費		1	式			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

C棟 4. 付帯建築修繕						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【1F】						
トイレスラブ補修費	女子和式トイレ 1箇所 男子和式トイレ 1箇所 材工共	2	箇所			
トイレブース躯体拡張費	女子トイレ 1箇所 男子トイレ 1箇所 材工共	2	箇所			
壁補修費	男子・女子トイレブース内 既存ライニング撤去箇所 材工共	2	箇所			
長尺シート張替え費	男子・女子トイレブース内 材工共	2	箇所			
幅木張替え費	男子・女子トイレブース内 材工共	2	箇所			
既存トイレブース扉変更費	男子・女子トイレ 折れ戸→内開き扉へ変更 材工共	2	箇所			
天井点検口	450角 開口部補強含む	2	箇所			
雑工費		1	式			
【2F～4F】						
トイレスラブ補修費	女子トイレ 4箇所×2F=8箇所 男子トイレ 2箇所×2F=4箇所 材工共	12	箇所			
トイレブース補強費	男子トイレ 間仕切り壁撤去後に伴う補強 材工共	3	箇所			
トイレブース扉閉塞費	男子トイレ 材工共	3	箇所			
トイレブース躯体費	女子トイレ 和式4箇所→ 洋式3箇所×3F=9箇所 新設扉も含む(内開き)材工共	9	箇所			
長尺シート張替え費	男子・女子トイレブース内	12	箇所			
幅木張替え費	男子・女子トイレブース内	12	箇所			
天井点検口	450角 開口部補強含む	6	箇所			
雑工費		1	式			
建築経費		1	式			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

相模原市環境方針

本市は、「相模原市環境基本条例」の基本理念に則り、望ましい環境像「人と自然が共生するまち～市民と築く、地域循環共生都市さがみはら～」を実現するため、事務事業の実施に当たり、以下のとおり、取組目標を設定し、継続的改善を推進します。

- 1 「相模原市環境基本計画」に基づき、環境関連施策を推進し、事務事業の実施に伴う環境負荷の低減を図ります。
- 2 地球温暖化対策や循環型社会の形成などを推進するため、再生可能エネルギー等利用設備の導入、省エネルギー機器の導入、公用車適正利用の推進、ごみの減量化・資源化の推進、資源・エネルギーの有効活用に取り組みます。

令和2年4月1日

相模原市長

【相模原市環境基本条例 基本理念】

- 1 環境の保全及び創造は、市民が健康で安全かつ文化的な生活を営むことのできる自然と調和の取れた豊かな環境を確保し、及び向上させ、並びに将来の世代へ継承していくことを目的として行うものとする。
- 2 環境の保全及び創造は、環境に関する資源の有限性を認識するとともに、その適正な管理及び利用を図り、もって環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会を構築することを目的として行うものとする。
- 3 環境の保全及び創造は、市、事業者及び市民相互の協力の下に行うものとする。
- 4 地球環境保全は、人類共通の課題であるとともに市民の健康で安全かつ文化的な生活を将来にわたって確保する上で極めて重要であることから、積極的に推進するものとする。